

News Release

アクセンチュア株式会社と日本オラクル株式会社、「アクセンチュア オラクル・イノベーション・センター」の開設を発表

日本オラクル本社内に統合的なオラクルソリューションの提供拠点を開設し、業務アプリケーションにおける包括的な協業体制を強化

アクセンチュア株式会社
日本オラクル株式会社

【東京発 2009年7月8日】

アクセンチュア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：程 近智、以下、アクセンチュア）と、日本オラクル株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長 最高経営責任者：遠藤 隆雄、以下、オラクル）は本日、アクセンチュアが東京都港区にある日本オラクル本社内に、オラクルソリューションの戦略立案からシステム導入・運用までを支援する拠点「アクセンチュア オラクル・イノベーション・センター」を設立し、業務アプリケーションにおける包括的な協業を開始することを発表しました。アクセンチュア オラクル・イノベーション・センターは、オラクルが持つ最先端のITソリューションとアクセンチュアが持つ上流コンサルティング能力、プロジェクト運営スキル、全世界で蓄積された情報資産、さらにオラクルのアプリケーション実装とテクノロジー・ソリューション開発に深く関わった経験とを融合することで、企業経営をビジネスとITの両面で革新する一貫したサービスを提供します。

アクセンチュア オラクル・イノベーション・センターは、お客様のビジネスのさらなる成長支援を目的として、「経営に貢献するIT」のキーワードのもと、お客様のビジネス革新に有効なソリューションの提案、構築、導入支援を行います。設立当初は、オラクルの統合計画ソリューション「Enterprise Sales & Operation Planning (E-S&OP) ソリューション」、および国際財務報告基準 (IFRS) 対応ソリューションの2つを主要領域とした活動を行います。同センターでは、2009年中にE-S&OP業務モデルソリューションパック、ならびにIFRS対応オラクルソリューションパックの構築を行う予定です。また日本オラクルでは、製品と技術情報の提供や本社開発部門との連携、情報交換、製品機能や技術に関する要求申請を支援し、アクセンチュアによる迅速なソリューション開発に協力します。

E-S&OP業務モデルソリューションパックは、事業計画とサプライチェーン・オペレーションの連携により、経営の意思決定を、調達、製造、販売などの現場へ、リアルタイムに反映させる仕組みを提供します。アクセンチュアが保有する各業界に対する深い知見を盛り込むことで、目指すべき経営と実務の乖離という、企業の構造的な課題を解決します。ビジネスモデルの提案に留まることなく、「Oracle E-Business Suite」、オラクルの需要予測管理アプリケーション

ン「Oracle Demantra」、オラクルの予実管理アプリケーション「Oracle Hyperion Planning」、オラクルのミドルウェア製品「Oracle Fusion Middleware」などのオラクルの最新テクノロジーを活用した具体的な IT ソリューションも併せて示すことで、お客様の持続的な収益拡大を後押しします。

IFRS 対応ソリューションパックは、国際的な潮流である IFRS の制度適用を、経営管理業務を変革するチャンスと捉え、日本市場向けに迅速かつ適切な経営判断を行うためのビジネス変革ソリューションを、オラクルの ERP パッケージ「Oracle E-Business Suite」、オラクルの財務管理アプリケーション「Oracle Hyperion Financial Management」をはじめとして、オラクルの最新アプリケーションを効果的に組み合わせて構築します。会計コンバージェンスの対応に加えて、企業全体を連結レベルで「見える化」し、ビジネス環境の変化に強い企業体質をお客様と共に実現します。

アクセンチュアは 2008 年 4 月に、オラクルアプリケーション全般に関するスキルや、サプライチェーン管理（SCM）領域における導入実績に定評のある株式会社ソピアの全株式を取得しました。アクセンチュア オラクル・イノベーション・センターの開設によって、アクセンチュアの日本市場におけるオラクルソリューションへの提案、導入および運用能力がさらに強化され、お客様の業種および業務内容に合わせた課題に対して、直接的な解決に導くビジネス・ソリューションの開発が可能となります。

アクセンチュア株式会社代表取締役副社長 兼システムインテグレーション&テクノロジー本部 統括本部長である武田 安正は「アクセンチュアは、システムインテグレーション分野のパートナー企業として、日本オラクル社内にビジネス提案拠点を設ける初めての企業であり、アクセンチュア オラクル・イノベーション・センターの開設を大変嬉しく思います。同センターはオラクルソリューションの先進的かつ包括的なビジネス提案拠点として、日本全国のお客様に最適かつ迅速なサービスを提供することで、両社のビジネスを大きく成長させることになるでしょう。」と述べています。

日本オラクル株式会社副社長執行役員 アライアンス統括本部長の志賀 徹也は「業務アプリケーションのビジネスでは、企業の経営と業務を熟知し、顧客のビジネスの視点で IT ソリューションを提案していくことが重要です。日本オラクルではアプリケーションビジネスの拡大に向け、コンサルティング会社との協業を重点施策として取り組んでいます。この度のアクセンチュア株式会社との協業は、その一環としてオラクルの業務アプリケーションの市場への浸透を加速するものと確信しています。アクセンチュア オラクル・イノベーション・センターでの活動を通じて、ビジネス成長の基盤となるソリューションを開発し、日本企業の成功に貢献して参ります。」と述べています。

Accenture Innovation Center for Oracle（アクセンチュア イノベーション センター フォー オラクル）は、アクセンチュアとオラクル両社が全世界でビジネスを展開する上で必要不可欠な緊密な連携を実現するためのコミュニケーション拠点であり、既に米国、英国で運営されており、お客様から非常に高い評価を頂いています。

アクセンチュアとオラクルは 19 年間以上にわたる協業関係を継続してきました。アクセンチュアは包括的にオラクルのエンタープライズソリューションの提案、導入、運用を行うシステムインテグレーターとして、最も広範かつ豊富な実績を誇っています多数のオラクル認定資格を保有したエキスパートが、オラクル製品群の導入、アップグレード、およびアプリケーション・アウトソーシングのソリューションなど、多岐にわたるサービスを提供しています。

アクセントチュアについて

アクセントチュアは、経営コンサルティング、テクノロジー・サービス、アウトソーシング・サービスを提供するグローバル企業です。豊富な経験、あらゆる業界や業務に対応できる能力、世界で最も成功を収めている企業に関する広範囲に及ぶリサーチなどの強みを活かし、民間企業や官公庁のお客様がより高いビジネス・パフォーマンスを達成できるよう、その実現に向けてお客様とともに取り組んでいます。世界 120 カ国以上に約 17 万 7 千人の社員を擁するアクセントチュアは、2008 年 8 月 31 日を期末とする 2008 会計年度の売上高が約 233 億 9,000 万 US ドルでした。

アクセントチュアの詳細は

www.accenture.com を、

アクセントチュア株式会社の詳細は

www.accenture.com/jp をご覧ください。

アクセントチュア株式会社

マーケティング・コミュニケーション部

神田 健太郎

045-330-7157

accenture.jp.media@accenture.com

日本オラクル株式会社 広報室

石川

03-6834-4834

pr-room_jp@oracle.com

日本オラクルについて

日本オラクル株式会社は、オラクル・コーポレーションの日本法人として 1985 年に設立されました。国内を拠点とした情報システム構築のためのソフトウェア製品、ソリューション、コンサルティング、サポートサービス、教育の事業を展開しています。1999 年 2 月 5 日に店頭市場へ株式公開、2000 年 4 月 28 日に東証一部上場。従業員数 2,226 名（2009 年 5 月末現在）。